

『岩見沢市立小・中学校の適正配置に関する基本方針』
に関するアンケート集計結果 ～ 町内会長対象

岩見沢市教育委員会

平成26年4月

1. 実施期間：平成26年2月12日～3月7日

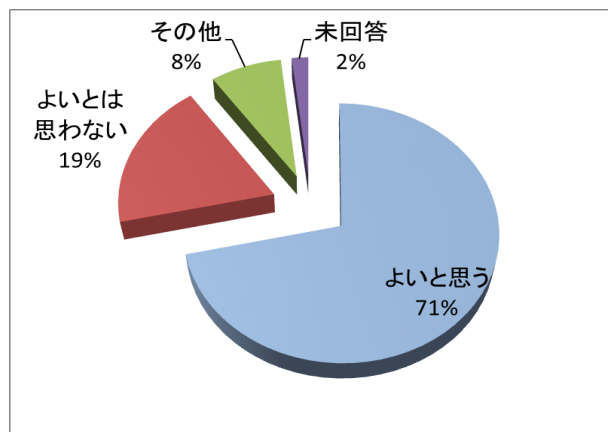
2. 対象：市内の町内会長

3. 回答件数

配布件数	回収件数	回収率
218	165	75.7%

Q1

学校規模（学級数）の適正規模を「小学校12学級以上、中学校9学級以上」とすることについて



《「選択理由」または「その他」の意見》

【よいと思う】

○効果的なクラス替え、教員の配置が必要です。
○色々な教育活動がしやすいと思うから。
○子どもが多いと様々な性格の人と接し、判断する気持ちが成長する。

【よいとは思わない】

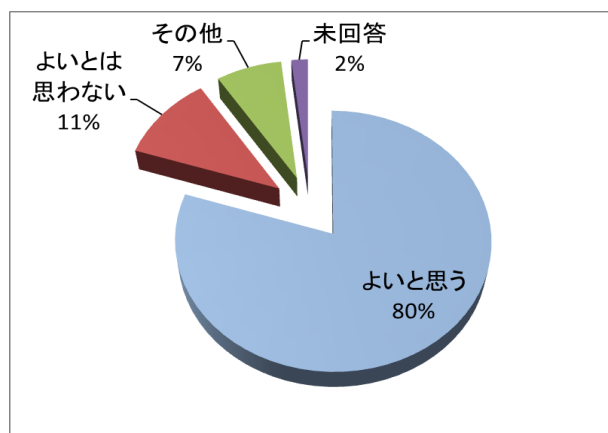
○小・中学校は地域の学校ですから、学校規模を一律に決めるのは良くない。
○人間関係が固定化することは必ずしもデメリットと言えず、少人数だからこそ細やかな対応ができると考えます。

【その他】

○基準は必要であるが、地域の実情を考慮して特に小学校の場合12学級にとらわれないでほしい。

Q2

学級編制（1学級の児童生徒数）の適正規模を「18人以上、35人以下」とすることについて



《「選択理由」または「その他」の意見》

【よいと思う】

○効果的なクラス替え、教員の配置が必要
○様々な活動を行ううえで生徒数のあり方としては望ましい。
○児童生徒数が少なくなると、人間関係の固定化や競い合う機会が少なくなる為

【よいとは思わない】

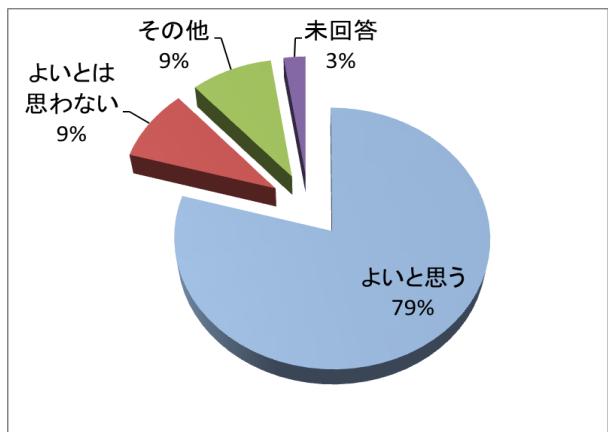
○18人以下でも良い。
○過疎地域、小規模校の切り捨てが危惧される。

【その他】

○地域性があるので、画一的に決める事には無理があると思う。
○人数の根拠が不明

Q3

「複式学級になる学校」、「小中9年間を通してクラス替えのない学校」については、少なくとも予測される5年前から改善に向けた審議をすることについて



《「選択理由」または「その他」の意見》

【よいと思う】

○時間をかけて説明し理解を得ることが必要。
○早めに将来を見通した計画が必要。
○複式学級は基本的には変則的な対応と考えるので事前の改善に向けての取り組みは必要。

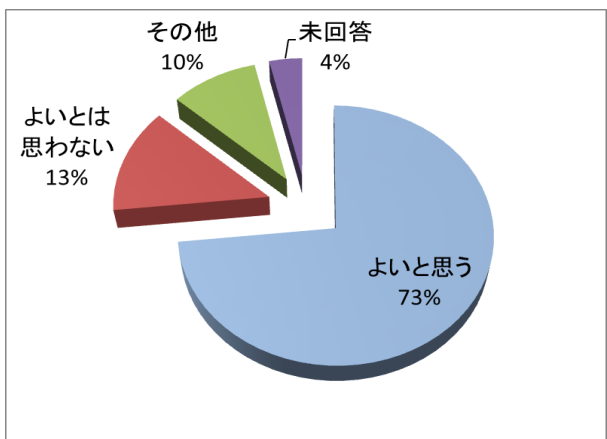
【よいとは思わない】

○さらに早期の段階で審議を進めてほしい。
○審議に入る＝減らすになりかねないため。

【その他】

○学校統合や廃校を前提とした審議にすべきでない
○審議は地域やご両親の（PTA）意向を良く聞き取り、慎重に進めるべき。

Q4 「小中9年間を通してクラス替えのない学校」の審議にあたっては、「小学校は存続させること」、「中学校は1学級18人を恒常的に下回らない学校は存続させること」を基本に審議を進めることについて



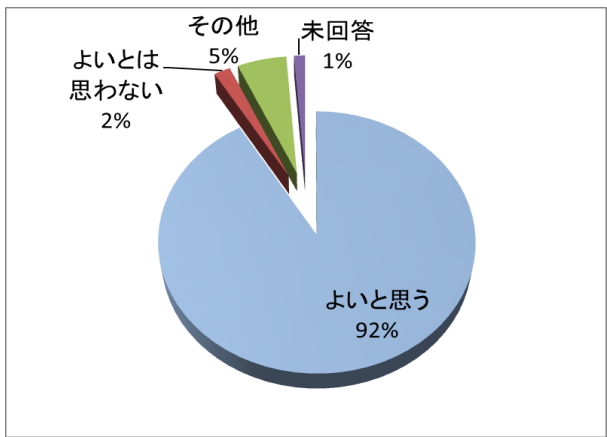
《「選択理由」または「その他」の意見》

【よいと思う】
 ○小学校存続はぜひ行ってほしい。
 ○小学生と中学生では、精神面でも違いが大きく、一緒に学ぶ人数が多い、少ないの影響は人間関係の面で大事だと思われる。
 ○スクールバスはデメリットが多い。地域の学校として存続させていくべきだと思います。

【よいとは思わない】
 ○18人以下でもよい。
 ○地域等の意見、要望を聞いて進めるべき。

【その他】
 ○地域として学校が必要な場所もあると思われる。基本は地域内での役割を検討願いたい。

Q5 耐震化未実施の小学校4校（中央、南、幌向、東）については、計画的に耐震化を図ることについて



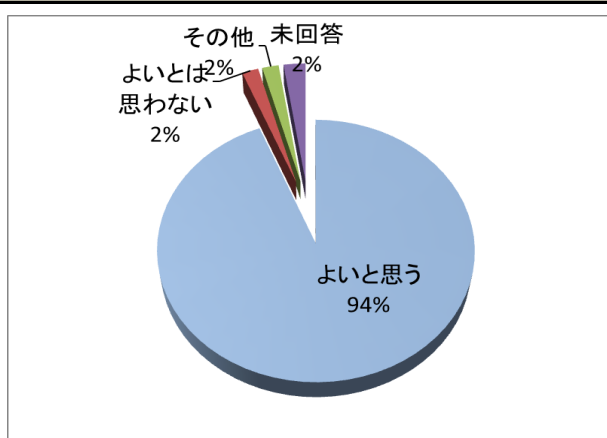
《「選択理由」または「その他」の意見》

【よいと思う】
 ○子どもの安全を第一に早急に実施してほしい。
 ○防災拠点にもなる学校であり耐震化は当然必要。

【よいとは思わない】
 ○少数の児童に対しての経費がかかりすぎ。
 ○築年数によって適度に新築したらいい。

【その他】
 ○できるだけ一斉にやった方がいいと思う。
 ○4校が今後も適正規模の学校として存続するのならよいが、そうでないならムダ。

Q6 現在の12館で放課後児童クラブ等の事業を継続し、今後、利用する児童が増えた場合については、小学校の近接地に整備することや空き教室を活用した放課後児童対策を検討することについて



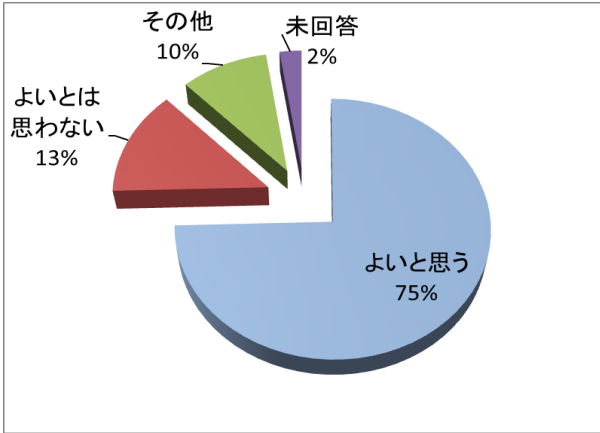
《「選択理由」または「その他」の意見》

【よいと思う】
 ○学校からの移動距離が少ない方が親としては安心。
 ○共働きが増えていくので、放課後児童対策の充実が必要。
 ○空き教室を活用することはよいと思う。

【よいとは思わない】
 ○児童館と学校は基本的に異なり、生活域と学業を同じにすることはいかがか

【その他】
 ○小学校や中学校を時間帯を調整して利用しても良いと思う。
 ○地域の児童の推移から、児童館運営委員会等で方向を検討してみてもいい。

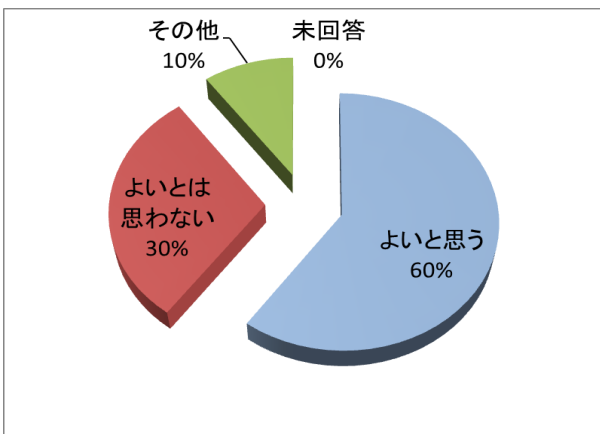
Q7 制度を利用する生徒、保護者に対する面接を新たに実施し、学校選択の意思等を確認することについて



《「選択理由」または「その他」の意見》

- 【よいと思う】
 ○理由や意志を確認することは必要だと思う。
 ○選択理由を保護者、生徒に聞き、適正に判断できるので良いと思う。
 ○よりよい制度の確立に向けてさらに内容について検討を続け、制度として定着を望む。
- 【よいとは思わない】
 ○必要と思わない。以前の考え方がなぜ悪いのか。
 ○選択制度そのものが、学校間の格差を生む可能性があるため心配。
- 【その他】
 ○中学校選択制度が本当に良いかどうか疑問

【中央小のみの設問】中央小学校を現在より西側へ移転することについて



《「選択理由」または「その他」の意見》

- 【よいと思う】
 ○特に小学校は学区の中心にあるのが良い。
 ○大和方面からの通学児童が多い現状と耐震化未実施であるため早期実施を望む。
 ○今のうちに西側の空いている土地に移転することはいいと思う。
- 【よいとは思わない】
 ○移転先がわからない
 ○現在地でよい
- 【その他】
 ○現時点では、西側の移転がよいと思うが、10年先20年先不確定要素もあるので十分な検討が必要。

Q8 【その他】これまでの質問の他、基本方針についてご意見等

- 基本方針の数時にあまりこだわることなく、地域の実情、意見、要望を踏まえて実施されたい。
- 人材を育成する場として大切な小中学校の適正配置に関する基本方針なので、広く市民の声を生かす方を今後も取っていただくよう強く要望します。
- 審議会やアンケートを利用して教育委員会の都合に合わせた結論にならないようお願いしたい。
- ある程度のクラス規模、学校規模がないと、良い意味での頑張ろうという競争心や、仲間とともに何かを成し遂げようという気持ちが薄れるので基本方針の考え方は良いと思います。
- 学級編成を30人以下にすることがまず第一でないかと思います。先生と子ども達がゆっくり話し合ったり、何かに取り組んだりできる時間をもっと増やす必要があると思います。
- 適正規模の配置について、委員会の意見が先行するのではなく、地域にとっても大切な問題であり、関係者（PTA、町会長など）とよく話し合いを持って進めるべきと考えます。
- 大型化、広域化するなら、中学生も含めたスクールバス通学は絶対に必要です。
- 町内会長のアンケートはいいが通学区域審議会の答申があってからの実施はいかかがか。審議会開催中に意見でアンケート項目を設定されてこそ審議に反映できる。答申と異なるアンケート結果が出たら基本方針を変更する意志があつてのアンケートを実施しているなら別だが。

《配布件数と回収状況について》

配布件数	回収件数	回収率
218	165	75.7%

《回答状況について》

Q.1 学校規模(学級数)の適正規模を「小学校12学級以上、中学校9学級以上」とすることについて。

よいと思う	よいとは思わない	その他	未回答	合計
118	31	13	3	165

Q.2 学級編制(1学級の児童生徒数)の適正規模を「18人以上、35人以下」とすることについて。

よいと思う	よいとは思わない	その他	未回答	合計
132	18	12	3	165

Q.3 「複式学級になる学校」、「小中9年間を通してクラス替えのない学校」については、少なくとも予測される5年前

よいと思う	よいとは思わない	その他	未回答	合計
131	15	15	4	165

Q.4 「小中9年間を通してクラス替えのない学校」の審議にあたっては、「小学校は存続させること」、「中学校は1学

よいと思う	よいとは思わない	その他	未回答	合計
121	22	16	6	165

Q.5 耐震化未実施の小学校4校(中央、南、幌向、東)については、計画的に耐震化を図ることについて。

よいと思う	よいとは思わない	その他	未回答	合計
151	3	9	2	165

Q.6 現在の12館で放課後児童クラブ等の事業を継続し、今後、利用する児童が増えた場合については、小学校の

よいと思う	よいとは思わない	その他	未回答	合計
155	3	3	4	165

Q.7 制度を利用する生徒、保護者に対する面接を新たに実施し、学校選択の意思等を確認することについて。

よいと思う	よいとは思わない	その他	未回答	合計
123	22	16	4	165

Q.8 中央小学校を現在より西側へ移転することについて。(中央小校区のみの設問)

よいと思う	よいとは思わない	その他	未回答	合計
6	3	1	0	10